

計画の名称	棚倉町宅地耐震化推進事業（防災・安全）													
計画の期間	令和03年度～令和04年度（2年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	棚倉町													
計画の目標	国による第一次スクリーニングにより明らかになった大規模盛土造成地について、箇所ごとの優先度を評価し計画的に進めるための第二次スクリーニング計画を作成し、町の総合的な防災対策の推進を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		3	A	3	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3		R4末
1	第一次スクリーニング（盛土マップ作成）に基づき、第二次スクリーニング計画（既往資料及び現地踏査により優先度評価）を作成する。 棚倉町内8箇所の第二次スクリーニング計画を作成する。			
		0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	棚倉町	直接	棚倉町	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査（棚倉町）	第二次スクリーニング計画の 作成（ 8 箇所）	棚倉町	■	■				3		-
											小計						3		
											合計						3		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
第一次スクリーニングに基づき、第二次スクリーニング計画（現地踏査及び優先度評価）の作成を業務委託により実施した。	令和5年6月
	公表の方法 棚倉町公式ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画対象である全8箇所の現地踏査等を行い、地盤調査等を行う計画を作成することが出来た。これにより、地盤調査を行い盛土の安全性を判断する事業を行うことが出来るようになった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
今回作成した第二次スクリーニング計画により、地盤調査等による大規模盛土造成地の安全性把握を進めていく。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	